

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.382

2022(令和4)年10月10日(月)発行



“プーチン戦争”の停止を 目覚めたかロシア国民の「戦争反対」

◆2月24日勃発のロシアのウクライナ侵略。7カ月経ってウクライナ軍が優勢になり、独裁者プーチンの焦りが伝えられています。ロシア国民の半数がこの戦争の不条理に気がつき、徴兵制への抵抗も激しい。◆まるでアジア太平洋戦争中の日本で、赤紙の「召集令状・徴兵制」で戦場に征く若者や家族の不安とまるで同じです。

安倍氏の国葬



▲国葬会場・日本武道館

県民意識が変化？

福島民報・世論調査

安倍氏国葬

「反対」66%

岸田内閣「支持」34%

「支持しない」46%

○9月20日『福島民報』の報道ですが、県民の意識が変わってきたのでしょうか。

読売新聞・全国世論調査

国葬の実施

「良くなかった」54%

「良かったと思う」41%

○10月2日、現政府寄りの『読売新聞』でさえ、岸田政権に厳しい評価です。

9月27日安倍元首相の国葬について、新聞とネットから。

<海外メディアの報道は>「日本を分断させた」

【ニューヨーク・タイムズ】安倍氏は国際社会では重視されていたが、彼の右寄りの政策に反対する人々は、安倍政権に対する数えきれない不満を表明している。国内でより対立を生じさせた。

【米・CNN】日本では多くの人が国葬に抗議していて、食事に困る人がいる中、国葬は税金の無駄遣いだと訴えています。

【英・BBC】エリザベス女王の国葬費用13億円、安倍元首相は16億円、40億円か。その差は中抜き業者のせい、と報じた。

【中国・環球時報】国葬の賛否で日本の世論が割れ、内閣支持率が下落した。主要7カ国のトップが参列を見送った。

【韓国・YTN】安倍氏を「極右政治家」と、反対デモを伝えた。

<国内の識者の見方は>『朝日新聞』より>

◆国葬に自衛隊の儀仗隊が参列し、式典の黙禱時に「国の鎮め」という軍歌が演奏された。保守色が強く、個人葬ならともかく国葬でこうした演出がされたのは違和感があった。一方、大手メディアが反対の声をきちんと取上げていたのは健全だと思った。国葬反対の世論を無視できない表れだ。(ジャーナリスト・津田大介、9月28日付)

◆国葬が旧統一教会にお墨付きを与えることになるのではない。安倍氏の「残像」をいまだ振り払えない岸田政権と自民党のどん詰まりぶりはかなり深刻だ。(編集委員・高橋純子、9月28日付)

◆日本の国葬儀は形式が決まっておらず、伝統も哲学もない。だからイベント業者が受注し、広告代理店を思わせる演出になる。スピーチの人数が多すぎ、長すぎる。友人代表だけで充分だ。振り返りビデオは余計だ。だらだら続く献花もなしで1時間に収めるべき。ひとことと言えば空疎だった。こうしたぶざまをしなくては、二度と国葬儀はしないことである。(社会学者・橋爪大三郎、9月30日付)

話題の菅氏の弔辞

式典で友人代表の菅義偉前首相の弔辞は、心のこもった言葉で安倍氏を称賛し悼んだ。議員会館安倍氏の読みかけの本、岡義武著『山県有朋』<左の岩波新書・文庫>から、伊藤博文がハルビン駅で韓国の安重根に暗殺されたことを悼んだ山県有朋の歌「かたりあひて 尽(つく)しし人は 先立ちぬ 今より後の 世をいかにせむ」を紹介。私もすぐに図書館から借りて読んでみたが、山県は「伊藤はどこまでも幸運な人間だった。死所をえた点で武人として羨ましく思う」と述べています。同じ銃撃死の安倍氏と伊藤博文、自分と山県有朋を重ねていますが違和感を覚えました。菅氏のかつての沖縄への冷淡な対応、広島平和祭典での読み飛ばしなどは何だったのでしょうか。(事務局 山崎健一)



新会員さんより

若者たちに私たちの思いを伝えたい

元小学校教諭・「ちきゅう座」編集委員
さいたま市 石川愛子さん

「こんにちは。石川愛子と申します。友人から貴会のことを知り、この度貴会に入会させていただきたいと思います。私は西会津町出身で、現在はさいたま市に住み、小学校の教員でした。

私も以前より、日本国憲法関連の福島県出身の鈴木安蔵や鈴木義男には関心を寄せておりました。福島県の誇りですね。

私は「ちきゅう座」という小さなメディアネットの編集に関わっています。『九条はらまち』もアップさせてもらえませんか。

ロシアのウクライナ侵攻を機に、与党や与党もどきは憲法改悪を企んでいて心配ですね。何とか若者たちにも私たちの思いを伝えていかなければと思っていますが、なかなかです。あきらめずにやっていくしかないですね。」 (2022. 5. 9.)

※「ちきゅう座」のホームページもどうぞ!

環境問題をはじめ様々な情報が満載です。

「鈴木安蔵を讃える会」より



小高区出身、「日本国憲法の間接的起草者」の鈴木安蔵の旧宅を保存管理し、顕彰するための「鈴木安蔵を讃える会」ですが、《はらまち九条の会》の皆様のご理解やご協力、ご支援に心から感謝を申し上げます。

会の発足から3年ですが、会員や協力者が352名になりました。現在、鈴木家の修復工事、定期的な清掃や庭園の手入れを行い、現在は安蔵の生涯や功績を明記した案内板の設置を計画中です。

また、コロナ禍の中、関東各地や北海道からも安蔵の旧宅を見学に来られる方々が大勢おられ、その熱心さにいつも圧倒されながら案内しています。

(報告：会長 志賀勝明)

9条看板の塗り直しを行います

世界は憲法9条をえらび始めた
あなたは9条を変えて戦争に行きますか?

2008年8月15日原町区錦町に建立した本会の「憲法9条の看板」。建設から14年が経ち塗料も剥がれ、修復の塗り直しを行うことにしました。経費は約12万円です。

まもなく、鮮明になった看板で「憲法9条」の大切さを、再び皆さんに訴えてくれることでしょう。

《事務局より》

安倍氏亡き後も「改憲」は進むのか、どうなるのか。皆さんはどう思われますか?

会報の訂正 会報No.378の表ページの「会員さんの声」の6行目、「円高」でなく「円安」でした。会員さんからのメールで気がつきました。ご連絡ありがとうございます。



コロナ禍で開かれなかった事務局会を久々に開き、活動のいろいろを相談しました。やはり電話や手紙でなく、お互いに顔を合せての話合いが大事ですね。もうコロナはたくさんです。

この会報は毎回の発行までは、編集⇒掲載内容の検討⇒印刷(400枚×3号=1200枚裏表・封筒400枚)⇒封筒に住所シール貼り⇒会報を三つ折りにして封筒詰め⇒そして郵送です。事務局員は皆さん老骨に鞭打って頑張っています。

「はらまち九条の会」事務局

○会長：平田慶肇 TEL(0244) 24-1211

○事務局長：早坂吉彦 TEL090-2975-2508

○事務局次長：山崎健一(福島市) TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com

○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892

○石田賢二(郡山市) TEL080-5556-4037 ○番場恵子 TEL22-0715 ○大浦祥見 TEL24-0704

○志賀勝明(相馬市) TEL090-9530-5524 ○若松麟二 TEL23-5732 ○田中徳雲(小高区)

ただ一面に立ちめた 牧場の朝の霧の海
ポアラ並木のうつりと 黒い底から昇る
鐘が鳴る鳴る かんかん
「牧場の朝」 銭石町石瀬牧場